

マーケットの動き (2021年11月22日～11月26日)

先週の国内株式市場は、前週末比で下落しました。

欧州にてロックダウンの動きがあり、感染再拡大への警戒感の高まりから軟調なスタートとなりました。その後、FRB（米国連邦準備制度理事会）パウエル議長続投が報じられ、米国金利が上昇すると続落しました。25日に反発するも、南アフリカで新型コロナウイルスの新たな変異株が発見されたことにより、週末にかけて再び下落しました。

投資環境見通し (2021年11月)

国内株式市場は変動率が高まって、極端な下押しには至らない

国内株式相場は、中国景気の先行きや、エネルギー価格上昇による交易条件の悪化が懸念される中、短期的には変動率の高い状況が予想されます。しかし中国政府が安定成長に向けた政策を講じると考えられることに加え、国内でも衆議院議員選挙を通過し経済対策の策定を急ぐとみられることから、株式相場の極端な下押しには至らないとみています。

今後はアジア圏での生産活動回復が確認され、国内での経済活動再開や政府による経済対策の内容が明らかになるにつれ、企業業績の改善を期待した買いも入りやすいと考えます。

	11月26日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX (東証株価指数)	1,984.98	▲2.91%	▲1.66%	3.35%	11.63%
日経平均株価	28,751.62	▲3.34%	▲1.22%	0.38%	8.34%

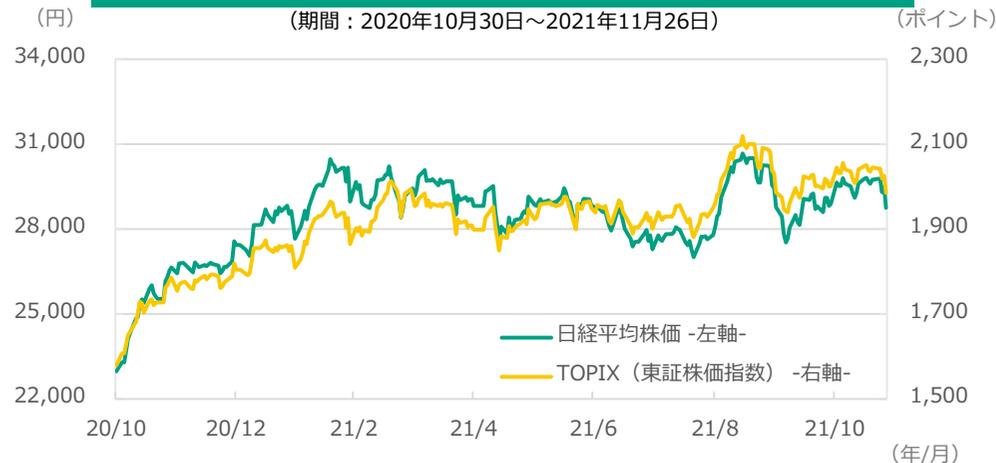
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

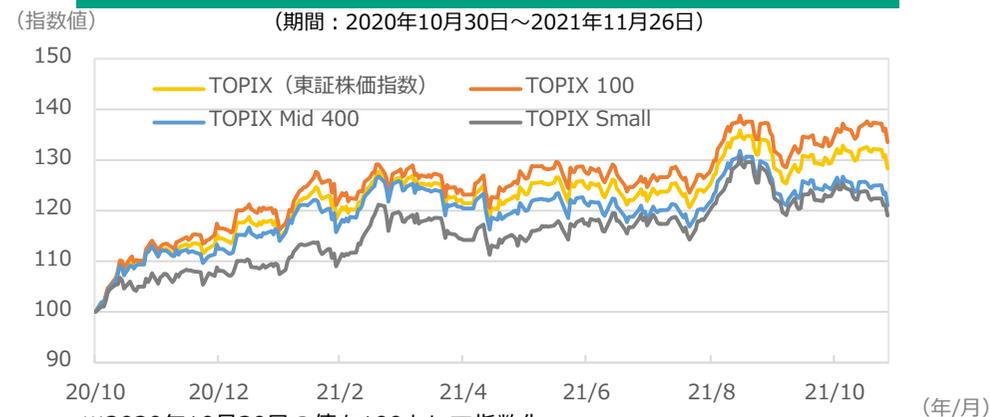
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202111_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日経平均株価、TOPIXの推移



TOPIX規模別指数の推移



※2020年10月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成